



この町で素敵な「^{ミライ}未来」を描く方をご紹介します。

日本舞踊特有の表現力と美しさで
町民の皆さんを笑顔にしたい。

白鷹花柳会

あだち 安達
みほ 美穂さん（中山在住）



今回ご紹介するのは、白鷹花柳会で活動する安達美穂さん（花柳千優穂さん）です。

安達さんが日本舞踊に出会ったのは、5歳の時です。3歳上の姉が白鷹花柳会に通っているところについて行ったことがきっかけでした。「日本舞踊をはじめて見た時は、その美しさにもものすごく感動したことを覚えています。また、大好きな祖父と毎日一緒に見ていた時代劇の影響もあってか、着物や芸事に憧れを持っていったようにも思います」と当時を振り返る安達さん。

期待と夢に心躍らせ、日本舞踊の世界に入りましたが、楽しいばかりでなく、困難も多々ありました。「日本舞踊の魅力は、その表現力と美しさにあります。動作一つ一つに繊細さが求められますし、踊りの振りを覚えるだけでも一苦勞です。本番では、もちろん譜本を見ながら踊ることはできません

ぜひ、皆さんも一緒に
楽しく踊りましょう！！



ので、自分の少ない記憶力で一生懸命詰め込んでいます（笑）」と日々の苦悩も絶えないようです。そのような中でも、「こんな風に踊りたい」とイメージし、稽古を積み重ね踊り切れた時の達成感はとても気持ちが良いものだと言います。「大変な分だけ達成感は大きいですね。何よりも、見てくださった方にお褒めの言葉をいただけることがとても嬉しいです。これからも日本舞踊を通して、少しでも多くの方を笑顔にしていきたいです」と伝統芸能にかける思いを語ってくれました。